

“農の志を耕す” 熊本農大 Kumamoto Agricultural College



No.43

熊本県立農業大学校

〒861-1113 合志市栄3805

TEL: 096-248-1188

FAX: 096-248-4432

熊本農大 検索

2021年7月発行

第44回 入学式 (4月13日)

令和3年(2021年)4月13日に本校体育館において入学式を挙行了いたしました。

体育館入場者全員の検温を行うなどの新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、御来賓の方々への御招待は差し控え、学生及びその保護者のみ参加いただく中で執り行いました。

式では、農学部農産園芸学科23名、野菜学科30名、畜産学科18名及び新規就農支援研修生47名に対して、中村秀朗校長が入学許可を告示した後、木村副知事から知事告示を行い、将来の熊本農業を担う新入生、研修生の門出を祝いました。

新入生を代表し、南田怜美さんが「私たちは農業の魅力に惹かれ、大きな夢と期待を胸に本校を志望した。今日の感動と決



意を忘れることなく、農大生としての誇りを持ち、これからの2年間、熊本農業を担う地域のリーダーとなれるよう知識や技術の習得に励むことを誓います」と決意を披露しました。続いて、新規就農支援研修生代表の木庭卓哉さんが「新規就農を目指し、新しい仲間と学ぼう、この日を迎えた。日々精進してまいります」と意気込みを述べました。

田植え実習 (6月16日)

毎年、早苗饗(さなぶり)として田植えと1、2年生の親睦を深めるイベント等の行事を開催しておりましたが、本年度はコロナ禍の影響もあり、田植えのみの実習となりました。今年度は、例年以上に学生会の役員が主体的に動き、コロナウイルスの感染状況を見ながら開催の可否について協議を重ねました。学生会からは「農大でこれまで脈々と続いてきた伝統行事を引き継いでいきたい」との意見が挙がり、今年度は、田植えは予定通り6月に実施し、親睦イベントは延期することとなりました。今後は状況に柔軟に対応し、「新しい生活様式」でのイベント開催を模索していきます。



校長室便り

熊本県立農業大学校 校長 中村 秀朗



4月13日、木村副知事に御臨席いただき第44期生71名の入学式を挙行することができました。

農業大学校は、次世代の農業を担う農業者の養成のため、農業機械等の免許取得だけでなく、ロボットトラクターやドローン操作、クラウドを活用した栽培技術交流などのスマート農業、さらには、時代の潮流や科学的な知識を学ぶため、専門的な見識を有する講師を招聘した授業の充実も図っています。

また、高い農業技術力や経営管理能力を習得するだけでなく、共同生活を通して自らの行動を厳しく律し、自立と協調の精神を養うため、学生会が主体となり、学校行事の企画立案、住みよい環境づくりのために頑張っています。

一方、大学校ともなると、高校までとは違い自由に使える時間がたくさんあります。この2年間で、「何を学び、何を身に付けるか」をしっかりと考え、将来の姿を描けるよう、御家庭でも話し合う時間を作っていただければと思います。

本校は昭和53年度に設立しており、老朽化した施設を順次改修しております。来年度は教育棟の改修工事を予定しており、仮校舎での授業となる期間もありますので御理解賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染症等により厳しい環境ではありますが、学生、教職員一同、校訓を目標に取り組んで参りますので、御協力いただきますようお願い申し上げます。



～44期生の様子～

農産園芸学科(農特産コース)

本コース44期生は11名です。卒業後は、親元での就農や農業法人への雇用就農を考えています。農大に入学した意欲はとて高く、刈払機での畦畔管理実習やトラクターやコンバイン、田植機、茶摘採機の操作実習にも意欲的で、卒業後の即戦力になるべく日々実習に励んでいます。各種資格取得の意欲も高く、ほとんどの学生が大型特殊やドローンの講習を受講します。将来が楽しみな学生ばかりです。



農産園芸学科(花きコース)

花きコース44期生は、男子3名、女子1名の計4名です。新型コロナウイルスの感染に気を付けながら、4名で協力して日々の講義や経営実習でトルコギキョウ、カーネーション、キクなど様々な花きについて実践的な知識や技術を学んでいます。また、IoT技術を活用した花き栽培にも取り組んでおり、現在はプロジェクト学習に備え、ほ場整備や種苗準備にいそんでいます。



農産園芸学科(果樹コース)

果樹コース44期生は8名です。今春は早い段階から気温が高く、例年より早く果樹の発芽・開花が進みました。このため、入学時にはナシやモモの摘果など急いで実施しなければならないことが沢山あり、濃密な栽培管理実習の3カ月でした。これまでは座学と共に、ナシ、モモ、ブドウを中心に美味しい果物を生産するための栽培管理に取り組みました。また、果樹栽培の第一歩である苗の管理についても、ミカン苗を教材に学んでいます。さらに、果樹研究所において農大敷地内では実施できない栽培管理や新技術についても学んでいきます。なお、今後始まるプロジェクト学習では専門性を磨き、将来の果樹農業の担い手として実践力を培っていく予定です。



野菜学科(野菜A・Bコース)

野菜学科44期生は、30名で毎日元気に学習に励んでいます。それぞれが目標に向かい、学校生活・寮生活をスタートさせました。これまでの経営実習では、主にメロン、スイカ、ミニトマトの栽培管理を学んでいます。定植や整枝などを経験し、座学と併せて野菜栽培の基礎を学習しています。また、食品加工や機械実習などもあり、幅広い学習ができます。秋作から始まるプロジェクト学習で専門性を磨き、営農に必要な実践力を磨きます。自分たちの夢実現のため、毎日の学習・実習に取り組んでいきます。



畜産学科(酪農コース)

酪農コースは、機械化が進んだ現在の酪農経営に即した施設が整っており、搾乳施設はもちろん、哺乳ロボットやTMR製造施設を活用した学習を行っています。農業高校出身者のほか農大で初めて牛に触れた学生もいますが、それぞれの学生が朝夕の飼養管理実習の中でお互いに協力しながら、機械操作技術の習得や搾乳技術の体得に励んでおり、今後、更に専門知識を深め、プロジェクト研究の実践へつながるよう頑張っています。



畜産学科(肉用牛コース)

畜産学科肉用牛コース44期生は、早朝実習や午後の経営実習を通して毎日の飼養管理からロープワーク、保定、除角、去勢、肥育牛のビタミン給与制限の手法、繁殖牛の発情兆候の判断法、分娩助法、後産処置法等、肉用牛の管理や経営に必要な様々な知識や技術を習得しています。特に本校では牛体に体温測定センサーを留置して分娩・発情時期が認知できるシステムや、スマートフォンを利用した牛群管理システムなど次世代のITシステムを活用した先端技術も取り入れています。



新年度トピックス

～農業の新技术を学ぶ～

農大では、スマート農業についての理解を深め、新しい農業生産技術と経営感覚を兼ね備えた人材として必要な資質・能力の向上に資することを目的として、農業の新技术(GAP、IoT)について講義・演習を行っています。

令和3年6月1日(火)に外部講師を招いてロボットトラクター、農業用ドローン、アシストスーツ等、農業の新技术についての講義、体験会を実施しました。参加者は、農産園芸学科、野菜学科の1年の学生53名です。

午前中の講義では、スマート農業の推進状況について、スライドを使った講義やアシストスーツ装着体験が行われました。午後の実演会では、農業用ドローンの実演、ロボットトラクターの試乗、ラジコン草刈機操作体験が行われました。

初めて最新技術機械に触れた学生達は、感触を確かめながら慎重に操作、試乗を行っていました。



令和3年度プロジェクト進捗状況(2年生)



農産園芸学科(農特産コース) 南 陽希

私の実家では大規模に水稻を作付けしていますが、近年の高温により、白未熟粒が多く発生し品質が低下しています。そこで、私は、実家で栽培している「森のくまさん」と、高温耐性が強い「くまさんの輝き」の2品種を使い、基肥時期と栽植密度を組み合わせて、白未熟粒が出にくい条件について検討していきます。



農産園芸学科(花きコース) 泉田 憲龍

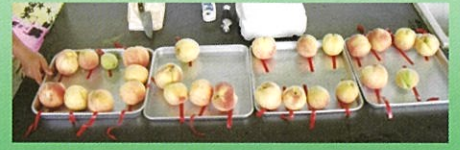
近年、県内において生産が増加傾向にあるホオズキを用いて、植栽密度の比較試験や系統による生育の違いについて調査をしています。

生産者が参考にできるデータがとれるよう、精一杯頑張ります。そして、農業関連産業へ就職をした際に、プロジェクトで得た知識や経験を活かしていきたいです。



農産園芸学科(果樹コース) 唐田 大輝

モモ「日川白鳳」において、早期摘蕾による果実の品質との関係(果実重・糖度・果肉硬度・核割れ等)を検証するプロジェクト活動に取り組み中です。また、本プロジェクト活動は、42期生のプロジェクト活動の成果を引き継ぎ、さらに検証を詳しく行っているため、これが「熊本農大のレガシー」になってもらいたいものです。



野菜学科(野菜Aコース) 上村 悠斗

私は高校でスイカを育てた経験があり、将来、自営する際の品目として小玉スイカを作りたいと考えました。そのためプロジェクト学習では、スイカの雌花サイズが果実重量、品質に与える影響を調べました。調査結果を生かし、就農後に品種を選ぶ際の参考にしたいと思っています。



野菜学科(野菜Bコース) 久富 麻翔

私の住む植木地区はすいかの大産地で、我が家でも大玉すいかを生産しています。プロジェクト学習では、食味と収量を向上させるすいか栽培を目指して、土壌改良剤の有無によるすいかの比較調査を行いました。栽培管理の習得に加え、調査結果を分析することで、就農後、我が家の経営に活かしたいと思っています。



畜産学科(酪農コース) 吉川 慎一

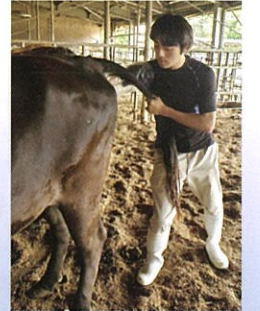
私は農大卒業後、我が家の酪農後継者として祖母の経営を引き継ぎたいと考えています。そこで私は、酪農経営において牛の疾病の中で最も発生数が多く、長年にわたり、解決すべき重要な課題のひとつとして位置付けられている「乳房炎」をテーマに掲げ、そのコントロール法についての課題を設定しました。

乳房炎は、乾乳後及び分娩前後に多く罹患すると言われており、今回の研究では主に乾乳期の乳牛を対象として乳頭口をシートで覆い、汚れや細菌が乳頭口から侵入することを物理的に防ぎ、その効果を検証していきます。



畜産学科(肉用牛コース) 塚元 太陽

現在、牛の品種改良が進み肉用牛では増体性や肉質が向上しています。しかしそれに伴い繁殖農家が抱えている最大の課題は発情兆候が分かりにくくなったことや見逃しによる受胎率の低下です。そのため近年ではITを活用したスマート農業に取り組む農家さんが増えています。そこで、牛温恵、ファームノート、ヒートマウントディテクターを活用し、目視を加えた4つの観点からどれが一番発情発見に効果的かを見極め、受胎率の向上を目指すプロジェクトに取り組んでいます。



第44回黒石原祭のお知らせ (熊本県立農業大学校学園祭)

告知

農大で学ぶ私たち学生は、農業・農村の担い手となることを目指し、安心・安全でおいしい農畜産物の生産や経営手法などを学んでいます。

日頃の学習成果を県民の皆様に披露するため、農大学園祭「第44回黒石原祭」を11月14日(日)に開催予定です。御来場を心よりお待ちしております。



オープンキャンパス 「緑の学園」の御案内

案内

体験学習をとおして、農大生活を感じてみませんか? 今年は7月31日(土)、8月20日(金)にオープンキャンパス「緑の学園」の開催を予定しています。

午前中は農大の概要、進路状況、各コースの概要説明を予定しており、学生寮で昼食を摂っていただいた後、午後からは希望のコースに分かれ、農業実習体験を計画しています。



令和4年度 専修学校 熊本県立農業大学校 学生募集

本校は、次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、実践技術及び新技術の習得や全寮制など充実した教育に努めています。学生に対し、資格取得を奨励しており、10種類以上の専門資格取得が可能です。また、本校は専修学校に位置付けられており、奨学金等の修学支援も受けることができます。卒業時に農業課程専門士の称号が付与され、4年制大学（3年次）への編入受験も可能です。

なお、高等学校をすでに卒業されている方でも、「一般入学者選抜」だけでなく、市町村長の推薦（地域推薦）により、「推薦入学者選抜」も受験できます。



1 入学者選抜日程等

区分	願書受付期間	選抜日	合格発表	選抜方法	選抜場所
推薦入学者選抜	令和3年(2021年) 9月1日(水)～ 9月10日(金)	令和3年(2021年) 10月5日(火)	令和3年(2021年) 10月21日(木)	学力検査：国語総合 (古文・漢文を除き、小作文を含む) 面接、提出書類	熊本県立農業大学校 熊本県合志市栄3805 電話：096-248-1188
高等学校推薦及び 地域推薦（市町村）					
一般入学者選抜	令和3年(2021年) 12月6日(月)～ 12月17日(金)	令和4年(2022年) 1月20日(木)	令和4年(2022年) 2月3日(木)	学力検査：国語総合 (古文・漢文を除く)、 数学Ⅰ 面接、提出書類	

2 募集定員

農学部（修業年限2年）

農産園芸学科（30人）・野菜学科（30人）・畜産学科（20人）……合計80人

※詳しくは、熊本県立農業大学校 教務課までお問い合わせください。

住所：熊本県合志市栄3805番地

電話：096-248-1188 FAX：096-248-4432



3 受験料等

入学試験手数料：2,200円

入 学 料：5,650円

授 業 料：118,800円／年

研修部では、一般社会人向けに農業の技術と知識を学ぶ研修等を実施しています

「令和4年度新規就農支援研修」の 研修生募集

就農を目指す社会人を対象とした令和4年度新規就農支援研修の研修生を募集します。充実したカリキュラムで仲間とともに農業を始めませんか！

研修コース	研修期間	募集人員
プロ経営者コース	週5日、4月～翌年3月	10名程度
実践農業コース	週3日、4月～12月	1組：環境にやさしい野菜栽培＋麦・大豆等の 作物栽培 20名程度
		2組：野菜栽培専攻 20名程度

前期募集 9月21日(火) から10月29日(金) まで

後期募集 1月 5日(水) から 1月28日(金) まで

オープンキャンパス(研修説明会)
を10月3日(日)、16日(土)に
開催予定です



「研修交流館」会議室、 宿泊室の利用案内

農業・農村の振興のための会議、研修会、交流会等に農大の「研修交流館」をご活用ください。その会議等に係る宿泊も可能です。(有料)

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては利用申込の受付を
停止する場合があります。

会議室1	当面は収容人数50名程度で運用
会議室2	当面は収容人数40名程度で運用
交流サロン	会議室利用者が使用できます
宿泊室	12部屋(当面は各室定員1名)

※マイク、プロジェクター完備



●問い合わせ：農大研修部 電話：096-248-6600 FAX：096-248-6018

会議室1・2は仕切を外して対応可能